

【研究概要】

中心静脈（CV）ポートの留置手技は通常安全に施行可能だが、手技に伴う中心静脈穿刺は時に致命的な合併症を生じうる。リザーバー&ポート研究会は本邦で唯一直接的にCVポートに関わる研究会であり、会員の所属施設において「訓練を受けた術者」が「画像ガイド下にCVポートを留置」した際の手技的成功率と安全性のデータを集積し解析することで、この手技における正確な情報が判明すると考えられ本研究が立案された。CVポート留置を予定する適格症例を登録し、観察項目を入力し前向き解析する。